

報道関係者各位

2014 年 12 月 17 日

株式会社ジュピターテレコム
SCSK 株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社

J:COM、SCSK、日本 IBM の 3 社が 今後の電力ビジネス拡大に向け、新 EMS 構築で協力

株式会社ジュピターテレコム（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牧 俊夫、以下 J:COM）と SCSK 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役会長兼 CEO：中井戸 信英、以下 SCSK）、日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：マーティン・イエッター、以下 日本 IBM）は、J:COM の電力ビジネスを拡大させる新たなエネルギー・マネジメントシステム（EMS）の構築を開始しました。

新システムの導入により、J:COM が 2015 年 2 月から開始するマンション向けエネルギー管理支援サービス『エコレポ』へ一部機能の提供を行うと同時に、今後一括受電サービスの一層の拡大を図るとともに、エネルギーデータを活用できるマネジメント・システムを構築し、お客様の多様なニーズに応えていく方針です。

今回 J:COM が採用した日本 IBM のエネルギー・マネジメント基盤は、仕様の異なる複数の HEMS や MEMS 等の機器のデータを収集できるシステムです。これにより、J:COM は、機器メーカー等に関わらず柔軟にエネルギー・マネジメントシステムのデータを一元的に収集・管理できるようになり、マンションデベロッパーなどお客さまの要望に応じた様々なサービスを今後提供していくことを目指します。日本 IBM は、電力使用量の見える化に加え、収集した膨大なエネルギー関連のビッグデータの分析により利用者にさらなる節電を促すなど、利便性の高い料金体系の設定やインセンティブの提供などを可能とするエネルギー・マネジメント基盤を構築していきます。今後、これまで世界各地で培ってきた多くのエネルギー・マネジメント分野での経験をいかし、J:COM を支援します。

また、今回のプロジェクトで SCSK は、J:COM の高圧一括受電向け電力料金計算システムと日本 IBM のエネルギー・マネジメント基盤の連携を担い、システム面よりお客様へのメリットの提供を実現し、将来の多様なプラン等へ対応の可能性を検討していきます。

以 上